

# 共同編集機能で、各自が調べた内容を一つの発表資料にまとめる

## <期待される効果>

【児童・生徒】○共同編集機能により、発表資料の作成に意欲的に取り組むことができる。

【教師】○必要な情報を判断する力、精査する能力、課題解決までの思考力を育成することができる。

## <学習場面>

協働制作



## <機能・ツール>

【共有】

M365: Teamsファイル  
(PowerPointなど)

Google:Googleドライブ

□イ□: 提出箱、資料箱

ミライ: オクリンク

【協働】

M365: onenote

Google:Google Jamboard

□イ□: シンキングツール

ミライ: ムーブノート

## <モデル事例>

○教師がPowerPointでフォーマットを作成し、あらかじめクラウドへ保存し共有する。

○児童・生徒は自分の与えられたテーマに沿って調べる。

○各自調べたことや資料から読み取れた内容を、スライドへ入力する。

○作成されたスライドはリアルタイムで反映・共有される。

○各グループで作成したPowerPointの内容を精査・確認・発表する。

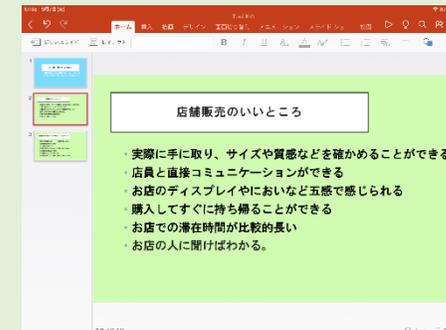
## <ポイント>

○児童・生徒の実態に応じてレイアウトなども児童・生徒自身が作成、変更することができる。

## <注意点>

○誤った操作でグループ全体のスライドが消えてしまうことがあるため注意する。

○同じスライドを複数人では編集できないツールの場合、ページの割り振り等あらかじめ決めておく必要がある。



## <ハッシュタグ>

#中級 #調べ学習 #ファイルの共有 #共同編集 #協働学習 #主体的 #特別支援 #発表 #思考力・判断力・表現力等